



# 大 地

(じねんじょ通信)

発行者: 社会福祉法人じねんじょ  
 発行日: 平成20年 3月 1日  
 TEL : 083-252-2227  
 FAX : 083-252-2259



じねんじょ 5周年に向けて  
 一さらに飛躍の年に！！

理事長 金原洋治

月日が経つのは早いもので、

「じねんじょ」も今年で5回目の春を迎えます。この4年間、職員は、日々の実践や研修等で学びを積み重ね、利用者の方々一人一人の思いやねがいを実現できるように、また、より良い支援ができるように努力を重ねてきました。開設時は、瀬口センター長が、不慣れな職員ばかりで大変だった当初の混乱期の舵取りをし、その後、石塚センター長のもとで約40名の職員が支援に当たっていますが、理念の実現を目指した支援に一步一步近づいていると思います。多くのボランティアの皆様と職員一人一人に感謝したいと思います。

運営面から見ると、この2年間は障害者自立支援法の施行に伴い、ご家族にとっては負担が多くなり、施設運営も厳しくなることが予想されましたが、保護者会や「じねんじょを育む会」、理事・評議員の皆様のご支援により安定した運営が可能になってきました。また、沢山の方からご寄付をいただき感謝しております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

昨年から、経営協議会と将来構想委員会の2つの委員会を設置し将来に向けた取り組みを始めています。一つはケアホームや就労支援など将来の活動のメニュー拡大に向けた取り組みですが、現在、視察など調査研究中です。もう一つは、目の前に迫った活動の場の拡大です。年々新しい利用者の方が増え手狭になっていきますので、活動の場を拡げて行く必要があります。近くに新しい活動の場を探していますので、良い物件情報があればご一報頂ければ幸いです。来年までには、新しい場を探したいと思っています。

活動の場や機能の拡大に関して、今年は、2つの取り組みを開始致します。一つは、おくぞの耳鼻科クリニックがあるビルの5階のフロアのトイレを改修し活動の場として利用しやすくすること、もう一つは、生野町の旧かとう珈琲の場所を借りて地域の交流拠点や新たな活動の場として利用を開始致します。オープンしましたら、皆様には改めてご連絡させていただきますので、お気軽に立寄りください。

最後になりますが、この4年間で村田晋作さん、姜仁愛さん、松岡佑樹さん、濱本悠斗さんの4名の仲間とお別れをしました。この場をお借りして、ご冥福をお祈り申し上げます。

## 5年目を迎えるにあたって

理事 木下 七生



「じねんじょ」が平成16年4月に開設されて4年がたとうとしています。この間、親と理事の立場で、国の施策に振り回された4年のような気がします。それでも、施設利用者も増え、スタッフも順次増えています。

この間、大きな事故もなく、運営されてきたのはスタッフの皆様の努力の賜物と感謝しています。

これからも、元気で明るい、笑い声が絶えない「じねんじょ」であってほしいと願っています。ただメンバーさんは声をだせる人が少ないので、スタッフの元気さにかかっています。

そのためにも、支援活動に目標をもって取り組んでいただきたい、それがやりがいになり、資質の向上及び自信になり、元気のもとになると思います。

その目標は「じねんじょ」の理念と目指すものの中から選択できるでしょう。

メンバーは家庭に帰ると「お姫様・王子様」ばかりで、大変なことと思いますが、宜しくお願いします。

特に、個人差は大きいですが、「メンバーに何ができるか」にチャレンジしていただきたい。そして、その結果を、特に失敗例をこの紙面に発表してください。何年後かに出来る事ができたらみんなで喜びましょう。

その事が、重症心身障害者の理解におおいに役立つし、スタッフの大変さも理解されるでしょう。

また、地域の人たちとの交流があります。

施設としての「じねんじょ」を知っていただくのは大事ですが、メンバーが地域の行事に参加することも、もっと大事なことではないでしょうか、ご一考下さい。

親か理事かよくわからないままに書きましたが、これからも「じねんじょ」支援隊として頑張りますので、皆様方のご支援をよろしく願います。



## 新たな風

センター長 石塚 忠志

平成16年4月に“じねんじょ”が開所し、5年目の春を迎え今思うことは、揺れ動く「障害者自立支援法」に振り回されることなく、利用者の願いや夢に耳を傾け、利用者一人ひとりの生活支援にあたること。

“じねんじょ”を利用している時間だけでなく、利用者の1日に目を向け、支援に当たらなければならないと思う。“じねんじょ”にいる生活だけでなく見えない生活を知り、1日・1週間・1か月・1年の生活の支援をしていく心構えが必要である。そして3年先5年先、様々な問題を予測した福祉アプローチを目指したい。

そのためには利用者との日々の関わりを積み重ねていくこと、各職種のスタッフがチームの一員として支援に取り組み、一人ひとりが支援の質や専門性の水準をより高め、広い見識と良識をも高めたいと思っている。

5年目の新たな風が吹くように、職員一丸となって頑張りますので、宜しくお願いします。

### 5年目を迎えるにあたって・・・

じねんじょ保護者一同

気がつけばもう5年目を迎える年になりました。その間、子ども達なりの意思表示をし、職員の皆さんとコミュニケーションを図れるようになりました。また、大きな病気をする事もなく毎日元気にじねんじょへ通うこともでき、「行つてらっしゃい」「おかえりなさい」と言える喜びも感じています。

じねんじょでは色んな活動をして、「今日の活動は楽しかったんだな」とか「もう年頃なんだな・・・」と新たな部分が発見でき、私達も嬉しく思う事が増えてきています。

これからも色んな活動を企画して、充実した生活を送ってほしいと思つていきます。ただ、今後の事を思うと不安な部分もあります。子ども達の事を分つてくれる職員の皆さんと一緒に、休日の支援も考えて行きたいと思つていきます。

何よりも子ども達がこれからもずっと元気に、じねんじょへ通い続けられるのが私たちの願いです。

### じねんじょへの思い

藤山 信三(将樹)

この春、いよいよ養護学校を卒業し「じねんじょ」への通所で将樹の第二の人生が始まります。じねんじょ設立の際は微力ながら応援させていただきましたが、金原先生を始めメインのスタッフとして活躍された方々なくしてこの施設の設定はなかつたでしょう。設立以来今日までの5年間で、将樹も度々利用させていただき、私達も様々なイベントに参加させていただいており親子共々慣れ親しんだ施設です。職員の皆さんも明るく健全で、嫌な顔をする事もなく接して下さっており、階下にはかねはら小児科もあることから、将樹のこれらの日常生活を安心して任せられる施設だと安心しております。

ただ将樹は歩けませんし、しゃべれません。しかし、人の言う事はほぼ理解してくれて電氣をつけたり靴下を脱いだりと様々な動作はしてくれれます。そして一番心配なのは結構足腰が強いため一人で物に掴んで立とうとします。いつか一人立ちして歩いてくれることを祈つてはいますが・・・

親としてできる限りの事はしてあげたいと頑張つておりますが、家庭内ではストレスもたまるといいます。じねんじょにおいて職員の皆さんや友達と交流を深める事により将樹が少しでも今より一歩前に出られたら幸いです。厳しい指導もいとませないので、悪い事は叱り良い行動は誉めてやっつて将樹始めじねんじょ全体に明るい笑顔が絶えない空間を維持し続けていって頂きたいと祈念致します。

## じねんじょ内部研修報告 ～毎月第3土曜日に実施中～

日々の支援に生かせるよう勉強会を開催しております。

その内容をほんの一部ですが紹介します。



### 【10月の研修】

中央消防署より職員の方に来所していただき、救命救急訓練を行いました。かねはら小児科にも常備されている“AED”の使用方法についても職員全員で確

認しました。いつでも人命救助できるはず・・・です！！



### 【12月の研修】

ノロウイルスの流行と共に、手洗い・吐物の処理の仕方について勉強しました。

“手洗いチェッカー”を使用して、いかに手洗いが大切かを再認識しました！！

これをきっかけに、手拭タオルはメンバー・職員共に「原則一人一枚」となりました。

### 【1月の研修】

下関市子ども発達センターはたぶ園の理学療法士である木本先生に来所していただき、ボイタ法の基礎学習を勉強しました。職員ペアを組んで実践～！

呼吸や緊張緩和の体験をしました。～リラックス～職員員の緊張緩和にもなったようです。



# 活動風景



馬関まつり（8月23・24日）に参加しました。

今年も“愛のひろば”に一銭焼き・フランクフルト・飲み物の販売、綿菓子&ゲーム、バザーを出店しました。

メンバー・保護者・スタッフがお揃いの“じねんじょTシャツ”を着て、お祭りを楽しみました。



じねんじょフェスティバルを10月7日（日）に開催しました。

メンバー・保護者、地域の方、たくさんの方々に参加していただきました。

梅こぶ茶さん、キッズダンスの皆さん、楽しいステージをありがとう。



11月18日（日）、下関市障害者スポーツセンターで開催された第11回下関市障害者交流卓球大会卓球バレーの部に、じねんじょから2チーム（8名）参加しました。

試合を通して他チームとの交流を楽しみ、1チームは準優勝をいただきました。



クリスマス会

（じねんじょ：12月13日、むく・むかご：25日）

アドベントカレンダーやプレゼント交換、柿本ファミリーさんのコンサートなどがありました。



1月11日に4人のメンバーの成人をお祝いする“成人の祝い”を行いました。エピソード披露や前撮りの写真鑑賞などをし、メンバー・保護者のたくさんの方々の笑顔を見ることができました。



## 保護者サークルの紹介

### 陶芸サークル



毎週水曜日の10時～13時  
まで活動しています。  
現在、10名で活動中です！

土を触ると幼少時、泥団子を作っていた頃の事を思い出します。土を「パン！」と板に叩きつける…ストレス発散にはもってこいで



お喋りしながら楽しく活動し、焼き上がった作品を見た時には本当に嬉しく、感激しています。

☆こんな楽しいサークルですが、一緒に活動してみませんか？いつでも見学にいらして下さいね！**ボランティア**での指導者も募集しています。（代表：片山）



### ヨガサークル

毎月2回 10時半～12時で活動しています。  
生徒は12名で、講師の先生をお招きして楽しく体を動かしています。

肩が凝ったり腰が痛んだり、皆さん体の不調がありました  
が、ヨガを始めてから調子が良くなってきました。  
老いてくる体にムチ打っています！（代表：米澤）



### さをり織サークル

毎月第1・3金曜日の10時～12時まで活動しています。

現在3名で活動中しています。  
縦糸を張るのには少々手こずっていますが、横糸を織りはじめ、だんだんと布になっていくのはとても楽しみです。

そして、できあがった作品はこれ一枚だけの限定品。  
次はどんな糸を組み合わせで織りましょうか・・・  
夢が広がります（代表：木下）



### 寄付者氏名(敬称略、順不同) H19.7～H20.1.現在

- ・重症心身障害者地域生活支援センター保護者会
- ・片山 徳雄
- ・柴田 久
- ・かこの集い
- ・柿本 ツルエ
- ・陶芸サロンじねんじょ窯
- ・森山 正啓
- ・梅光学院幼稚園
- ・やまぐち小児科
- ・さをり織サークル
- ・梅光学院保護者会
- ・ヨガサークル
- ・羽藤 和子
- ・本木 誠
- ・赤木 順二

たくさんのご寄付を頂きました。

ありがとうございました。

### じねんじょの“輪”

～じねんじょと繋がりのある方々から一言コメント～

☆じねんじょと地域との交流を深めるため、橋渡しの役目をしていきたいです。じねんじょを地域の方々にもっともって理解してもらえよう、協力していきたいです。

折り紙で作品を作るボランティアもしています♪  
(評議員 山野上 宏江)

☆「成人を祝う会」に参加して会場いっぱい拍手の中、正装してお母様と一緒に照れながら入場した4名の新成人。主役として立派にこの日を盛り上げて最高でした。  
(ボランティア 渡辺 圭子)

☆スタッフの方々・メンバーさん達との触れ合いはほんの僅かな時間ですが、その中で笑顔・努力・思いやり・根気・誠実…等々かみしめています。

いつの間にか私も席を譲られるトシになり、つい忘れがちになる大切な物を折にふれ「じねんじょ」の皆様にごさせてもらって、感謝です！（ボランティア 岡本 茂子）

**これからも宜しくお願いします！！**

### ご紹介 じねんじょのHPがリニューアルされました！

HPアドレス <http://www.jinenjo.or.jp> です。

“じねんじょ”で検索してもOKです。  
《写真館》はスライドショーで、日中活動の紹介をしています。（個人情報保護のためパスワードが必要としております。担当までご連絡ください。）

また、掲示板《じねんじょの友達の輪》も皆様さまざまな情報交換の場になればいいなと思っています。お気軽に書き込みしてください。担当：杉村・柗田

### 人事異動のお知らせ

新しい職員です。どうぞ宜しくお願いします。

支援員 木村 英和 支援員 福江 綾子

支援員 山本 やよい

退職しました。みなさんお世話になりました。

支援員 堀山 知子 支援員 森山 正啓

支援員 八嶋 順子 事務員 船越 美智子

### 編集後記

じねんじょも今年で5年目を迎えます。この間、変化してきたことは…数えきれません。

今回はじねんじょ関係者の方々から、たくさんのご協力をいただき、作成することができました。書面をもって御礼申し上げます。

メンバーも増え、新体制になるじねんじょがどう変化していくのか、これから楽しみです。

次号でまた新たな報告が出来るよう、日々の活動を充実させていきたいと思っています。（編集部）